

バリアフリー絵本リストのご紹介

外の世界が見えにくい、ことばの理解が難しい、文字を読むのが難しい…など、様々な困難を抱えている子どもたちがいます。けれども、子どもたちはみんな絵本やお話が大好きです。図書館では、障がいのある子どもたちが本を楽しんでもらえるようにしたいと考えています。

点字や凹凸のついた「さわって読める」絵本や、理解しやすい内容の絵本を選び、リストにしました。「バリアフリー絵本リスト」として絵本コーナーに設置しています。ご自由にお持ちください。



バリアフリー絵本の一覧は、図書館ホームページの「おすすめブックリスト」でも見ることができ、現在貸出中かどうかを調べることができます。また、バリアフリー絵本のコーナーは、本館の絵本コーナー入って前方左手にあります。点字絵本も借りていただくことができます。⇒



職員のおすすめ《この書き手に注目！》

小野 正嗣

(おの まさつぐ 1970年大分県生まれ)
東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学。パリ第8大学文学部博士課程に留学。フランス語圏カリブ海地域文学を研究。2001年『水に埋もれる墓』(朝日新聞社)で第12回朝日新入文学賞、2015年に『九年前の祈り』(講談社)で第152回芥川賞を受賞した。立教大学文学部准教授。

少し前になりますが、NHKで小野正嗣さんを紹介する番組を見ました。小野さんの家族や育った入り江の町を中心に紹介されていましたが、その映像を見てびっくり、私が『九年前の祈り』に抱いたイメージ、まさにそのものだったからです。

『九年前の祈り』は、亡くなられた兄、史敬さんのために書かれた小説で、小野さんのみずみずしい文章表現は、生まれ育った環境やフランス文学を勉強してきた経緯から生まれてくるのか…と、納得させるものがあります。

本のテーマでもある「母子の繋がり」について、小野ワールドを覗いてみてください。

(本館 若尾)

西川 美和

(にしかわ みわ 1974年広島県生まれ)
映画監督、作家。2002年『蛇イチゴ』でオリジナル脚本、監督デビュー。2009年映画「ディア・ドクター」でブルーリボン監督賞ほか受賞。著書に『昨日の神さま』『ゆるる』(ポプラ社)などがある。

今回お薦めする作品は、『永い言い訳』(文藝春秋)です。人気小説家の幸夫は、既に冷えきった夫婦関係だった妻を、旅行先の事故で亡くしますが、妻の死に悲しみの感情が湧かずにいました。淡々と日々を過ごしていたある日、同じ事故で亡くなった妻の友人の家族と出会い、ほんの思いつきから、二人の子どもの世話を買ってでます。

プライドが高く、自分本位の行動ばかりの幸夫が、子どもたちとの交流によって少しずつ変わり、次第に妻と向き合い始めていく様子が、複数の登場人物の視点で綴られていきます。それぞれの心情が細やかに描かれており、思わず共感し心揺さぶられるシーンがいくつもありました。夫婦、家族や友人など、身近にいる人の大切さとその関わり方を改めて考えさせられる一冊です。

(帷子分館 東)

分類	書名	著者名	出版者名
心理・宗教			
141.2/キ/	地図をグルグル回しても全然わからない人の方向オンチ矯正読本 地図が読めるようになる！「脳内マップ」で記憶を形にする！方向オンチの人に向けて、道を歩くだけで誰でもできる、世界一カンタンな方向感覚の鍛え方を紹介する。	北村壮一郎／著	秀和システム
188.8/ハ/	お坊さんが教える悟り入門 執着を捨てる、誰かと自分を比べない…。瑞岩寺住職で、「みんなに必要とされるお寺になる」活動に取り組む著者が、日常の暮らしのなかですぐに試せる禅の教えや、日々の仕事を通して感じたことなどを伝える。	長谷川俊道／[著] ディスカヴァー・トゥエンティワン	
歴史・伝記			
231/シ/2	ギリシア人の物語 2 民主政の成熟と崩壊 大国ペルシアを打破した民主政アテネ。ペリクレスの手腕によりエーゲ海の盟主として君臨し、その栄光は絶頂を迎えた。だが、デマゴグが煽動するポピュリズムが台頭すると、アテネはスパルタとの泥沼の戦争へと突き進み…。	塩野七生／著	新潮社
234.0/ロ/	いのちの証言 ナチ政権下、ホロコースト時代をどのように生き延びたのか。生存ユダヤ人とユダヤ人を救った日本人たちの記憶と証言をもとに、悲劇の時代を生きた人間の姿をありのままにつづる、渾身のノンフィクション。	六草いちか／著	晶文社
280.4/シ/	「修身」教科書に学ぶ偉い人の話 戦前の修身教科書には、偉人の実話がたくさん載っており、子ども達はそれを通して、理想とする人物と出会い、人生の基礎を築いていった。その中から特に読んでほしい話を、新字新仮名で収録する。	長山靖生／編	中央公論新社
288.3/7/	安倍三代 母方の祖父・岸信介を慕う安倍晋三首相のもうひとつの系譜。反戦の政治家として軍部と闘った父方の祖父・寛と、その後を継いだ父・晋太郎。気鋭のジャーナリストが、「安倍三代」の軌跡を追う。	青木理／著	朝日新聞出版
社会			
319.3/ヤ/	「文明の衝突」はなぜ起きたのか 起きているのはイスラム教圏の衝突ではない。格差と闘い、不平等の連鎖との闘いである！闘争と葛藤が繰り返されてきたヨーロッパ・中東の歴史的経緯を振り返りつつ、世界の緊張を解くための処方箋をさぐる。	薬師院仁志／著	晶文社
336/エ/	AI が同僚 職場で AI ってどう使われるの？徹底した現場取材や専門家による寄稿をもとに、「AI」の現実の姿と今後の働き方を考察する。活用事例が満載。	日経トップリーダー／編	日経 BP 社
369.2/ナ/	おひとりさまの介護はじめ 55 話 要介護認定の申請の仕方、ケアマネジャーの探し方…。これから介護を始める人に役に立つ情報と制度について、自身の介護体験も取り入れながら、わかりやすく伝える。	中澤まゆみ／著	築地書館
自然科学・医学			
490.1/ム/	哀しみを得る お母さんとの最期の時間をどう生きますか？看取りという、誰も避けては通れない人生の大きな節目の出来事を「生きることのレッスン」ととらえ、ひとつずつ超えていく過程をたどり直した介護と看取りのドキュメンタリー。	村中李衣／著	かもがわ出版
491.1/ス/	毛の人類史 4000 年前の人間も脱毛に悩んでいた？3ヶ月前のストレスで髪が抜ける？毛髪科学の研究者が、毛の本質、毛の持つ科学的・文化的・歴史的側面、そして人類の生活における毛の役割を、わかりやすくコンパクトに伝える。	カート・ステン／著	太田出版
498.3/カ/	脳科学が解き明かす人を動かす伝え方 相手に「なるほど」と思ってもらえる、「イエス」と言ってもらえる伝え方をするには、柔軟に脳全体を使いこなすことが不可欠。「人を動かす伝え方」を身につけるための具体的な脳のトレーニング方法を紹介する。	加藤俊徳／著	海竜社

技術・家政

- 576.7/ビ/ **美肌のために、知っておきたい化粧品成分表示のかんたん読み方手帳** 久光一誠／監修 永岡書店
 「薬用化粧品」と普通の化粧品はどう違う？シリコン入りシャンプーは使わない方がいい？スキンケア製品の化粧品成分について、それぞれの働きや役割をわかりやすく解説。成分表示の読み方のポイントも示す。
- 588.9/ハ/ **未開封の包装史** 林健男／著 ダイアモンド・ビジネス企画
 カットしたスイカを入れるジッパー付きパッケージ、そのままレンジでチンして食べられる枝豆。青果包装の歴史を明かす。青果パッケージ業界のパイオニア・精工の歩みと共に、青果包装の歴史を明かす。

産業

- 686.2/シ/ **名古屋鉄道** 清水武／著 アルファベータブックス
 流線型電車の登場、パノラマカーの時代、3扉車時代の幕開け、地下鉄乗り入れ車両…。名古屋鉄道のなつかしい車両と駅、沿線の風景を多数の写真とともに紹介する。

芸術、芸能、スポーツ

- 702.1/コ/ **古墳時代美術図鑑** 古谷毅／監修 平凡社
 統一国家へと向かう黎明期の日本、激動する 400 年の歴史は造形に刻まれた。銅鏡、工芸、埴輪…。出土品の形・材質・加工など、「モノの造形」から古墳時代を捉え、その歴史と美を解説する。
- 779.5/シ/ **ショコラ** ジェラルール・ノワリエル／著 集英社インターナショナル
 19 世紀末の華やかかなりパリで、人気随一の芸人となった元奴隷の黒人。だが、芸は認められたが、「人間」と認められることはなかった…。黒人芸人ショコラの数奇な運命を描く。
- 780.1/ニ/ **スポーツボランティア読本** 二宮雅也／著 悠光堂
 スポーツを「支える」活動＝スポーツボランティアの魅力とは？さまざまなスポーツボランティア活動を紹介するとともに、その人材育成や、発展可能性と質の向上などにも触れる。実践者による座談会も収録。
- 783.7/サ/ **神は背番号に宿る** 佐々木健一／著 新潮社
 背番号という数字にまつわる、選手たちの数奇な人生とは？プロ野球選手の生きざまを背番号から見つめ直す異色のドキュメント。NHK-BS「背番号クロニクル プロ野球 80 年秘話」の取材をもとに書籍化。

日本文学—文学論、小説

- 909/ア/ **子どもの本のよあけ** 荒木田隆子／著 福音館書店
 名翻訳者・瀬田貞二は、戦後の焼け跡が残る日本で、どのように子どもの本に関わっていったのか。1970 年代を振り返りながら、彼の軌跡をたどる。東京子ども図書館主催の講座をもとに書籍化。
- 913.6/アサ/ **花を呑む** あさのあつこ／著 光文社
 心に虚空を抱える同心・木暮信次郎。深い闇を抱える商人・遠野屋清之介。因縁の二人が、妾に怨み殺された男の怪異に挑む。「弥勒」シリーズ 7 作目。
- 913.6/イケ/ **向こうがわの蜂** 池永陽／著 PHP 研究所
 小柳薫は「蜜蜂がこの世からいなくなると人類は滅亡する」という不思議な予言を受ける。その日から、薫の身に次々と不思議な出来事が巻き起こり、美女とともに昭和 40 年代の東京に迷い込む…。
- 913.6/ウエ/ **雪つもりし朝** 植松三十里／著 KADOKAWA
 「私」は国立新美術館で軍服姿の不思議な男を見かけた。この地は、「二・二六事件」ゆかりである一。首相・岡田啓介、侍従長鈴木貫太郎と妻のタカ、昭和天皇実弟・秩父宮…。日本の平和へと繋がる、彼らの「この日」の物語。
- 913.6/オウ/ **果てしなき追跡** 逢坂剛／著 中央公論新社
 新選組副長・土方歳三は、新政府軍の銃弾に斃れた、はずだった。一命を取り留めた土方は、米国船に乗せられ彼の地へ渡る。だが、意識を取り戻した彼は、記憶を無くして…。
- 913.6/オン/ **失われた地図** 恩田陸／著 KADOKAWA
 日本各地の旧軍都に発生する「裂け目」。かつてそこに生きた人々の記憶が形を成し、現代に蘇る。記憶の化身たちと戦う男女、遼平と鮎観。彼らが息子を授かったことから運命の歯車が狂い始め…。

913.6/トバ/	柳生三代の鬼謀	鳥羽亮／著	徳間書店
	上泉伊勢守から無刀取りの奥義を受け継いだ石舟斎。徳川將軍家兵法指南役となり天下に新陰流の名を轟かせた宗矩。廻国修行で己の剣を磨き流派の深化に務めた十兵衛。偉大なる剣客三代を活写する。		
913.6/ナツ/	本を守ろうとする猫の話	夏川草介／著	小学館
	高校生の夏木林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコが現れ…。		
913.6/ハム/	墨龍賦	葉室麟／著	PHP 研究所
	浅井家滅亡、斎藤利三との友情、本能寺の変…。建仁寺の「雲龍図」で名を馳せた桃山時代最後の巨匠・海北友松。武人の魂を持ち続けた絵師の生涯を描く歴史長編。		
913.6/ハラ/	サロメ	原田マハ／著	文藝春秋
	19世紀末のロンドン。美貌とスキャンダルで時代の寵児となった作家オスカー・ワイルドと、イギリス画壇に彗星のごとく現れた夭逝の天才画家ビアズリーの愛憎を描く。		
913.6/フジ/	畏に落ちろ	藤田宜永／著	徳間書店
	私立探偵・影乃は相棒の雪永とともに谷内義光の惨殺肢体を発見。ほどなく蔵主グループ会長の豪邸で窃盗団を撃退し…。バブルに踊る80年代末の東京を舞台にしたハードボイルド・ミステリー。		
913.6/ムレ/	ついに、来た?	群ようこ／著	幻冬舎
	「お母さん、ぼけてるよ」父の死後、年下の男に奔ったサチの母。70歳で男に捨てられ戻ってきたけど、どうも様子がおかしくて…。シリアスなテーマを明るく綴る、全8編の連作小説。		
エッセイ			
914.6/エン/	人生の踏絵	遠藤周作／著	新潮社
	人生にも、さまざまな「踏み絵」がある。そんな踏み絵を踏んでしまう弱い人間こそ、神は寄り添ってくれる…。不朽の名作「沈黙」の創作秘話をはじめ、文学と宗教、人生の救済と奥深さを縦横に語る遠藤周作の名講演集。		

展 示 の ご 案 内

■ 2 / 25 (土) ~ 3 / 30 (木) ■

鉄道の本展 (本館1階)

1987年4月に、国鉄からJRに事業が継承されました。発足30年を記念して、鉄道の本を展示します。

鉄道の歴史や路線図、図鑑、また鉄道がテーマの小説やエッセイ、絵本など、様々な本があります。

■ 4 / 1 (土) ~ 4 / 27 (木) ■

ぎふけん・おすすめの一冊コンクール 入賞作品展 (本館1階)

岐阜県図書館で行われた平成28年度コンクールの入賞作品です。今までの読書経験の中で、読んで感動した本、人生を変えた本、役に立った本など、おすすめた本について紹介する作品を、イラストPOP・POP・紹介文の3部門で展示します。

映 画 上 映 会 の お 知 ら せ

「子どもに本を 石井桃子の挑戦」

児童文学者・石井桃子の歩みを映像で振り返ります

「ノンちゃん牧場」と「子どもと文学」の2本の映画を上演します。解説を兼ねたミニ講演会もあります(講師は元名古屋市区図書館職員の飯田治代さん)。参加無料です。

3月24日(金)

午前10時30分~午後0時30分(受付10時~)

可児市立図書館本館 3階学習室にて

定員: 70名(要申込・先着順)

受付開始: 3月3日から

図書館本館窓口または電話でお申込ください。

開館時間 【本館】 平日 10:00~19:00、土日祝 10:00~17:00
【分館】 全日 9:00~17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日
3月 6,13,20,27,31日

携帯用
サイト



「図書館だより」2017年3月号

発行: 可児市立図書館 編集: 長谷川(本館) 電話 (0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。